

令和3年度事業報告書

令和3年度事業は、おむつの洗濯及びリースの事業（以下、「ダイアパー事業」という。）における諸問題の調査及び研究等を通して、ダイアパー事業の適正な運営と発展を図ることにより、生活環境の浄化と社会福祉の向上に寄与すべく、ダイアパー事業の衛生基準の適正な確保などに関する事項を重点として事業の推進を図った。

第I 会員に関する事項

1. 会員の異動状況

（令和4年3月31日現在）

区 分	2年度末	3年度中		3年度末
		入 会	退 会	
正 会 員	83	0	2	81
賛助会員	17	0	0	17
計	100	0	0	98

正会員の退会：[3. 6.30付] 南九イリョー株式会社 千葉支店 関東甲信越支部

[4. 3.31付] 茨城リネンサプライ株式会社 関東甲信越支部

2. 正会員 支部別・都道府県別 入会状況

（令和4年3月31日現在）

支部名	都道府県名	支部名	都道府県名
北海道（5）	北海道（5）	近畿（7）	京都（1）大阪（2）
東 北（13）	青森（2）岩手（2）宮城（4） 秋田（1）山形（1）福島（3）		兵庫（3）和歌山（1）
関東甲信越 （19）	茨城（1）埼玉（5）千葉（1） 東京（3）神奈川（5） 新潟（3）長野（1）	中国（12）	鳥取（1）島根（1）岡山（6） 広島（3）山口（1）
東海北陸（10）	富山（2）静岡（2）愛知（6）	四国（7）	徳島（1）香川（1）愛媛（5）
		九州（8）	福岡（3）佐賀（1）宮崎（1） 鹿児島（2）沖縄（1）
		計	81
会員不在県 （13）	栃木、群馬、山梨、岐阜、石川、福井、三重、滋賀、奈良、高知、長崎、熊本、大分		

3. 賛助会員 本社所在地別 入会状況

（令和4年3月31日現在）

地区名	本社所在地県名	地区名	本社所在地県名
関東（9）	埼玉（1）東京（7）神奈川（1）	近畿（5）	大阪（5）
東海（2）	愛知（2）	九州（1）	福岡（1）
		計	17

第II 役員に関する事項

1. 定数及び現在数

(令和4年3月31日現在)

区 分	定 数	現在数	任 期
理 事	10人以上15人以内	11人	令和2年6月17日～
監 事	2人	2人	令和4年6月定時総会日

2. 役員会の構成と現任者氏名 (順不同・敬称略)

(令和4年3月31日現在)

理 事 長 (支部長兼務)	副理事長 (支部長兼務) (定数2人)	専務理事	常務理事 (支部長兼務) (定数8人)	理 事	監 事
高江 智和理 (北海道)	佐藤 哲也 (関東甲信越)	(副理事長兼務)	加藤 忍 (東北)	長尾 伸一 (正会員)	唐沢 昌敬 (会計士)
			長谷川 正親 (東海北陸)		飯塚 素行 (税理士)
			東 純生 (近畿)	米田 剛	
			大野 博之 (中国)	鈴木 孝則	
			白木 元朗 (四国)	(以上賛助会員)	
			松山 俊博 (九州)		
1人	1人		6人	3人	2人

第III ダイアパーの衛生確保・品質向上等の推進に関する事項

令和3年度における当振興会事業は、本法人の設立趣旨に沿い定款第3条の目的を達成するため、ダイアパーの衛生面からの洗濯技術・品質向上及び安定提供等に資する事業を中心として次に掲げる各事業の推進を図った。

1. 貸おむつに関する厚生労働省ガイドラインの普及事業

令和3年度事業計画に基づき、会員各社等において生産されている貸おむつの衛生状態を把握確認するための「貸おむつ細菌検査事業」及び会員各事業所の貸おむつ洗濯工場の衛生基準の確認点検のための「自主点検委員による衛生基準自主点検調査（隔年事業）」について、振興会役員も参画した拡大技術調査研究委員会において検討作成した各事業の実施要領等により、次のとおり実施した。

(1) 貸おむつ細菌検査事業の実施

会員各社等において生産されている貸おむつの細菌検査は、令和3年7月19日付け日ダ振発第14号及び令和4年1月17日付け日ダ振発第35号で通知した「令和3年度貸おむつの官能検査及び細菌検査の実施について」の「令和3年度（夏季）・（冬季）おむつの官能検査・細菌検査実施要領」に基づき、検査日を夏季は8月2日（月）～4日（水）、冬季は1月31日（月）～2月2日（水）と定め、全国一斉に実施した。

また、技術調査研究委員会からの要請に基づき、前年同様、セレウス菌の自主的な追加検査を夏季の細菌検査において実施した。

検査費用は、前年同様、会員が委託する非会員工場分も含め全てを本部で負担した。検査は、（公社）日本食品衛生協会食品衛生研究所に委託して実施した。

なお、非会員へ委託している場合は、当該委託先に対し、本検査への積極的な受検の勧奨を要請するなどして実施した。

○令和3年度の支部別検査状況は、次表のとおりである。

	受検会員数		受検数		初回合格数		再検査数		再検査 不合格数	
	夏季	冬季	夏季	冬季	夏季	冬季	夏季	冬季	夏季	冬季
北海道	4	4	4	4	4	4	0	0	0	0
東北	10	10	13	13	13	13	0	0	0	0
関東甲信越	13	13	14	14	11	14	3	0	0	0
東海北陸	8	8	8	8	6	8	2	0	2	0
近畿	5	5	5	5	4	5	1	0	1	0
中国	7	7	8	8	6	8	2	0	0	0
四国	6	6	6	6	5	6	1	0	1	0
九州	7	7	8	8	8	8	0	0	0	0
計	60	60	66	66	57	66	9	0	4	0
前年度	59	59	67	67	51	67	16	0	4	0

注1 「受検会員数」と「受検数」の差は、1社複数工場および非会員委託工場である。

注2 夏季再検査の内訳：一般細菌とセレウス菌である。

なお、「しみ・変色」については、当該会員へ注意喚起を行うのみの取扱いとした。

注3 夏季における自主検査のセレウス菌は、4工場で検出された。

注4 再検査で不合格の会員は、各自再々検査実施するよう通知した。

(2) 自主点検委員による衛生基準自主点検調査の実施（隔年事業）

ア 自主点検事業の実施に当たっての協力要請

令和3年7月26日付にて、日ダ振発第17号で支部長、日ダ振発第18号で正会員に、理事長名通知「令和3年度ダイアパー衛生基準自主点検調査事業の実施について」をもって、令和3年9月7日点検委員技術講習会の開催と10月自主点検調査の円滑な実施について協力要請をした。

新型コロナウイルス感染者増加に伴い、令和3年8月24日付にて、支部長及び正会員に、「令和3年度ダイアパー衛生基準自主点検調査事業の延期について」を通知した。

その後、令和3年9月10日付で、自主点検調査の実施期間を11月下旬～12月とし、点検委員技術講習会を令和3年11月10日に開催する旨連絡するとともに、各点検委員には郵送にて委嘱状を交付した。

また同正会員向け通知では、点検委員以外の者でも技術講習会の受講申込を受け付ける旨の連絡も行った。

イ 点検委員の委嘱と点検委員技術講習会の開催

令和3年11月10日、ホテルグランドヒル市ヶ谷において、「点検委員技術講習会」を開催した。受講者は、点検委員が25名、点検委員以外からは、5名の参加があった。

ウ 点検委員技術講習会 プログラム （別紙）

エ 点検委員による自主点検調査の実施

実施期間中に、全国48工場を対象に、各支部の点検チームにより、次の表のとおり実施された。

○ 令和3年度自主点検調査実施状況

支部名	実施期間 (実延べ日数)	委員数	点検数	支部名	実施期間 (実延べ日数)	委員数	点検数
北海道	12/3 (1日)	3名	3工場	近畿	12/9～16 (3日)	7名	5工場
東北	11/17～29 (6日)	3名	10工場	中国	12/8～15 (4日)	4名	6工場
関東甲信越	11/17～12/10 (6日)	6名	7工場	四国	12/3～10 (5日)	8名	5工場
東海北陸	12/2～8 (3日)	6名	5工場	九州	11/17～12/1 (4日)	4名	7工場
合 計					(実延べ日数) 32日	41名	48工場

オ 自主点検調査においては、点検委員が書類審査、現地確認を行い、点検表の45項目を「適は○」、「要改善は△」、「不適は×」の3区分により判定した。これを委員相互で確認し、連署・押印後、支部長経由にて本部に提出した。

本部事務局において、令和4年1月に各点検表・調査付票の判定結果・算定数値について審査、照会等するなど全国集計し、理事長より技術調査研究委員会に対する総合評価を諮問するための関係資料として取纏めを行った。

カ 自主点検調査結果の総合評価

令和4年2月15日（火）、第2回拡大技術調査研究委員会を開催し、技術調査研究委員会に対し総合評価を諮問した。

同委員会においては、「不適の×」、「要改善の△」についての指摘内容、前回の点検結果の突き合せなど、公正かつ厳正に総合評価が行われた。

星数による成績評価は、下表のとおり「総合評価に係る判定基準」を適用し、最終的な個別審査を行った。

○ 総合評価に係る判定基準（技術調査研究委員会）

判定基準		判定	星数
第1基準	第2～第4基準		
すべて ○	すべて ○	秀	☆☆☆☆☆
△が1項目	△が5項目以内	優	☆☆☆☆
△が2項目	△が10項目以内 ×が2項目以内	良	☆☆☆
△が3項目	△が15項目以内 ×が5項目以内	不良	☆☆
△が4項目 ×が1項目以上	△が16項目以上 ×が6項目以上	不可	☆

○ 令和4年2月15日付けで、技術調査研究委員会（大神弘明委員長）より、次のとおり理事長あて答申があった。

令和4年2月15日

一般社団法人 日本ダイアパー事業振興会
理事長 高江 智和 理 様

一般社団法人日本ダイアパー事業振興会
技術調査研究委員会 委員長
大 神 弘 明 ㊟

答 申 書

令和4年2月15日、貴職から諮問された令和3年度ダイアパー衛生基準自主点検調査の判定結果に基づく総合評価については、下記のとおり答申する。

記

1 総合評価の表示について

総合評価の結果は、別紙1の「令和3年度ダイアパー衛生基準自主点検調査事業実施要領に基づく総合評価に係る判定基準（令和元年度と同基準）」により、次表のとおり星数及びその成績の段階順位により表示する。

星 数	成 績	摘 要
☆☆☆☆☆	秀	非常に良好で他の模範となる。
☆☆☆☆	優	良好である。
☆☆☆	良	普通である。
☆☆	不良	改善を要する。
☆	不可	不良であり、より一層の改善を要する。

2 会員別の総合評価について

別紙2の「令和3年度自主点検調査総合評価一覧表（最終版）」のとおり。

3 総合評価を終えて

今回の総合評価を行うにあたり、点検委員から提出された「洗濯施設・衛生基準点検表」及び「点検調査付票」により、前回評価との検証も併せて行い、客観的な算定数値によって判定の可否をチェックするなど、より公正かつ厳正な総合評価となるよう努めた。（別紙3「令和3年度自主点検調査「点検委員の評価判定とその指摘内容」に対する委員会の最終評価判定一覧表（最終版）」及び別紙4「令和3年度自主点検調査点検項目別判定一覧表（最終版）」を参照）

その結果、第1衛生基準（細菌検査）では、直近（3年夏）の検査結果で一般細菌数が基準値を超えたものが4施設あったが、その全てが再検査等で合格（△）となっていた。第2基準～第4基準の判定では、要改善指摘事項の件数が7施設10事項と項目数では前回より減少し（13施設19事項）、1施設5事項以上の指摘となった施設は無かった。

貸おむつに関する厚生労働省のガイドラインは、会員施設であろうと非会員施設であろうと適用されるものであることから非会員に業務委託をしている会員においては、当該ガイドラインの趣旨の徹底に引き続き努められたい。

なお、点検委員の調査においては、工場における作業等の留意事項や改善につながるような事項について、引き続き、点検委員は必要に応じて助言、注意喚起等に努めるようお願いする。

総合評価の結果は、最上位の5ツ星は37施設、4つ星は11施設で、全ての施設が4ツ星以上に格付けされた。これは前回の令和元年度より改善されており、施設の衛生管理に対する意識が定着してきていると伺えるが、引き続き、この水準を維持・向上するよう努められたい。（別紙5「令和3年度支部別総合評価結果」を参照）

今後も、このような会員相互による自主点検調査方式による貸おむつ洗濯施設の評価認定制度が会員はもとより社会的な信頼・評価を高めていくために、クリーニング師の有資格者等の貸おむつ洗濯施設の管理運営に関し十分な専門的知識と経験を有する点検委員による点検調査が望ましいこと、また、点検調査1チームは複数人とする必要から、点検委員以外の点検委員技術講習会への参加による人材の育成に関しても一層促進するとともに、点検委員の各支部間における情報交換を行うことなども引き続き提起して置きたい。

終わりに、各支部、点検委員及び調査工場におかれては、新型コロナウイルス感染症が流行している中での調査実施において感染予防に配慮しつつ、また、日程の変更などにも対応・協力いただいたことに敬意を表しますとともに、「貸おむつに関する厚生労働省のガイドライン」による衛生管理を普及徹底していくためには、点検委員のみならず貸おむつ洗濯施設の従業者に対しても、技術研修・衛生講習会を継続的に開催するなど、衛生知識等研鑽の機会を提供していくことが必要かつ重要であることを前回同様に提起し、答申とする。

（添付資料）

別紙1：「令和3年度ダイアパー衛生基準自主点検調査事業実施要領に基づく

総合評価に係る判定基準（令和元年度と同基準）」

別紙2：「令和3年度自主点検調査総合評価一覧表（最終版）」

別紙3：「令和3年度自主点検調査「点検委員の評価判定とその指摘内容」に対する委員会の最終評価判定一覧表（最終版）」

別紙4：「令和3年度自主点検調査点検項目別判定一覧表（最終版）」

別紙5：「令和3年度支部別総合評価結果」

令和3年度ダイアパー衛生基準自主点検調査
点検委員技術講習会プログラム

日 時 令和3年11月10日(水)13時～17時
場 所 ホテル グランドヒル市ヶ谷 瑠璃西

(13:00～13:05) (5分)

1. 開会挨拶

一般社団法人 日本ダイアパー事業振興会
副理事長 佐藤 哲也

(13:10～13:40) (30分)

2. 特別講演 クリーニング業法の解説

厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生課
主 査 大 嶺 彩 氏

3. 技術講習

(13:45～14:00) (15分)

(1) 開講挨拶及び講義 技術調査研究委員会委員長 大神 弘明 氏
企業の社会的責任から考えるダイアパー衛生基準の順守・点検

(14:00～14:45) (45分)

(2) 現代の感染症と微生物制御
技術調査研究委員会委員 古畑 勝則 氏

—— (休憩：15分) ——

(15:00～15:45) (45分)

(3) ダイアパー洗濯施設・衛生基準点検のポイント について
技術調査研究委員会委員 中川 順一 氏

(15:45 ～ 16:30) (45分)

(4) クリーニング業法と指定洗濯物の衛生
技術調査研究委員会委員 大坂 隆 氏

(16:30～)

4. 閉会 (兼閉講式) 技術調査研究委員会委員長 大神 弘明 氏

(3) 技術調査研究委員会の運営

技術調査研究委員会は、前年度同様に当振興会の役員も参画した拡大技術調査研究委員会として、会員各社の事業工場の現状などを踏まえながら、ダイアパー事業の衛生基準の確保改善のため事業の推進について検討した。

○拡大技術調査研究委員会名簿 (令和4年3月31日現在)

区分	氏名	役職及び所属
委員長	大神弘明	一般社団法人日本食品安全支援機構 副会長
委員	大坂隆	元東京都衛生局 参事
〃	中川順一	一般社団法人環境放射能除染学会 理事
〃	石飛博之	公益財団法人給水工事技術振興財団 専務理事
〃	古畑勝則	麻布大学 教授・博士
〃	高江智和理	理事長：社会福祉法人北海道光生舎 理事長
〃	佐藤哲也	副理事長：(株)ケー・デー・エス 代表取締役社長
〃	米田剛	理事：アイナックス稲本(株) 代表取締役会長
〃	鈴木孝則	理事：(株)アサヒ製作所 代表取締役会長

ア 第1回 拡大技術調査研究委員会

日時：令和3年7月9日（火）12：30～

場所：鉄鋼会館

議題：令和3年度 細菌検査事業（夏季）の実施について
令和3年度 衛生基準自主点検調査の実施について
その他

イ 第2回 拡大技術調査研究委員会

日時：令和4年2月15日（火）12：30～

場所：鉄鋼会館

議題：令和3年度 細菌検査事業（冬季）の実施について
令和3年度 衛生基準自主点検調査の結果について
その他

ウ 専門委員会の開催

第1回 日時：令和3年12月13日（月）14：00～

第2回 日時：令和4年1月11日（火）10：30～

場所：zoomによるリモート会議

議題：清拭タオル類に関する衛生管理及び実態調査の評価分析等について

2. 広報誌「ほわいと」の発行

人にも環境にも優しい布おむつの普及拡大と環境の保全対策に資する観点から、「広報誌 ほわいと」第49号と第50号発行した。

＜配布先＞ 正会員（顧客分を含む）、賛助会員、厚生労働省、都道府県および各自治体の生活衛生・介護保険・老人保健の各主管課、看護師・介護福祉士養成施設（専門学校）

第IV その他事業の推進

1. 貸おむつ類の洗濯契約の業務代行実施事業の運営に関する事項

布おむつ類の供給ラインは、汚物を適正に処理し、布おむつ利用者の快適な生活環境を保持する上で、病院や介護施設等にとっては極めて重要な生命線となっている。

このため、布おむつの絶対的供給ライン確保のための業務代行実施事業は、社会公共の観点からも本会に課せられた役割は大きく、引き続き、各支部長との緊密な連携のもとに本制度の適切な運営に当たる。

◎ 業務代行実施依頼契約の更新日は、10月1日とし、一括契約書方式による更新事務の手続きを実施した。

【業務代行実施依頼契約の現況と推移】

支部名	令03.10.1～令04.9.30		対前年度	令02.10.1～令03.9.30		令01.10.1～令02.9.30	
	会員数	契約件数		会員数	契約件数	会員数	契約件数
北海道	5	65	△ 6	5	71	5	69
東北	13	83	△ 10	13	93	13	100
関東甲信越	20	793	30	21	763	21	896
東海北陸	10	970	△ 11	10	981	11	972
近畿	7	1,803	△ 26	7	1,829	7	1,930
中国	12	786	△ 19	12	805	12	810
四国	7	91	△ 5	7	96	7	102
九州	8	289	△ 74	8	363	8	434
計	82	4,880	△ 121	83	5,001	84	5,313

2. 第13回貸おむつ生産量実態調査実施について

ダイアパー業界における布おむつ類等生産の実態とその経営動向を把握するため、令和2年度に第13回目の調査として正会員及び協力非会員宛て依頼し、本部事務局で集計分析を行い、報告書として取り纏め、令和3年4月13日付日ダ振発第4号にて各会員に送付した。

回 答 状 況

(括弧内は前回調査)

区 分	調査依頼事業所数 (A)	回答事業所数 (B)	回答率 (B) / (A)
正 会 員	83社 (84社)	77社 (76社)	93% (90%)
非 会 員	2社 (3社)	2社 (3社)	100% (100%)
計	85社 (87社)	79社 (79社)	93% (91%)

第V 法人の運営に関する事項

1. 理事会等の開催

(1) 令和3年5月 第1回 通常理事会 (提案書による決議事項同意)

- ① 令和2年度事業報告 (案) に関する件
- ② 令和2年度収支決算 (案) に関する件
- ③ 監査報告に関する件
- ④ 令和3年度定時総会の開催等に関する件
- ⑤ 理事の退任・選任に関する件
- ⑥ 永年表彰に関する件

※新型コロナウイルス感染症流行のため、理事会を開催せず定款第39条の規定に基づき、理事長より理事会決議事項の提案書を送付し、各決議事項は5月13日をもって役員全員の同意を得た。なお、監事からも異議はない旨の意思表示を得た。

(2) 令和3年6月18日 (金) 役員 (理事・監事) 会議 「定時総会控室」

- ① 定時総会の運営について
- ② その他

(3) 令和3年6月18日 (金) 臨時理事会 (定時総会終了後)

常務理事の選任および理事の退任に関する件

(4) 令和4年3月11日 (金) 第2回 通常理事会

於 ホテルグランドヒル市ヶ谷 「珊瑚」

- ① 令和4年度 事業計画 (案) に関する件
- ② 令和4年度 収支予算 (損益ベース) (案) に関する件
- ③ 令和4年度 第1回理事会・支部長会 および
定時総会の開催(案)に関する件

- ④ 会員の退会に関する件
- ⑤ 次期役員の推薦に関する件
- ⑥ その他（報告等）

2. 定時総会の開催

令和3年6月18日(金) 定時総会

於 ホテルグランドヒル市ヶ谷 「珊瑚」

(議題)

- ① 令和2年度 事業報告(案)に関する件
- ② 令和2年度 収支決算(案)に関する件
- ③ 監査報告に関する件
- ④ 令和3年度事業計画・収支予算の報告に関する件
- ⑤ 永年表彰に関する件
- ⑥ 理事退任・選任に関する件

— 定時総会終了後に行う懇親会は中止 —

3. 監事会の開催

令和3年4月21日(水) 15:00～ 令和3年度監査 於：振興会共用会議室

監査事項：令和2年度事業報告及び収支決算(案)

監査実施者：唐沢 昌敬 監事、飯塚 素行 監事

4. 諸案件について理事長等役員とのメール等による打合せ

- (1) 令和2年度事業報告及び収支決算案に関する件
- (2) 令和3年度の理事会・総会の日程及び運営等に関する件
- (3) 役員のリ退任・選任等に関する件
- (4) 技術調査研究委員会の運営等に関する件
- (5) 令和3年度細菌検査事業、ダイアパー自主点検調査事業の実施に関する件
- (6) 令和4年度理事会・総会の日程及び運営等に関する件
- (7) 令和4年度事業計画及び収支予算案に関する件
- (8) 令和2年度貸おむつ生産量調査の報告に関する件
- (9) 日本テキスタイルサプライ協議会に関する件
- (10) その他振興会事務運営等に関する件等

8. 本部からの発簡文書等

日付振発・号	年 月 日	文 書 標 題 (件名)	宛 先
1	03. 4. 9	年会費のご請求について	正会員
(事務連絡)	//	定時総会の開催について(懇親会中止のお知らせ)	正会員・賛助会員
2	03. 5. 1	広報誌「ほわいと」の送付について	会員・関係先他
3	03. 4. 12	リネンサプライ業技能実習講習会(中級)の開催について	正会員・賛助会員
(事務連絡)	03. 4. 9	クリーニング業界資材・機械総覧のご案内	正会員
4	03. 4. 13	貸おむつ生産量調査報告書(第13回)送付について	正・賛, 役員, 協力
5	03. 4. 16	第1回通常理事会の開催中止について(支部長会)	役員
6	03. 4. 27	書面理事会 決議の提案について	役員
(事務連絡)	03. 4. 30	「労働安全手帳(コロナウイルス追補版)」のご案内	各支部長
7	03. 5. 17	役員(常務理事)の就任について	新役員
8	03. 5. 24	定時総会の開催について(総会資料送付)	正会員・役員・事務局
<FAX>	03. 6. 1	コロナワクチン職域接種について (他支部へはメールにて連絡)	東海北陸支部事務局
9	03. 6. 10	年会費のご請求について	賛助会員
10	03. 6. 10	広報誌「ほわいと」掲載の広告料のご請求について	当該賛助会員
(事務連絡)	03. 6. 21	総会資料の送付について	賛助会員
11	03. 7. 1	支部連絡窓口設置費の請求等について	各支部長
12	03. 6. 9	清拭タオル等の調査について(協力お願い)	正会員
13	03. 6. 17	第1回拡大技術調査研究委員会の開催について(ご案内)	委員
14	03. 7. 19	夏季貸おむつの細菌検査の実施について	正会員
15	03. 7. 21	業務代行実施依頼契約の更新について(お知らせ)	//
16	03. 7. 21	業務代行実施依頼契約の更新事務手続きについて	各支部長
17	03. 7. 26	ダイアパー自主点検調査事業の実施について	各支部長
18	03. 7. 26	ダイアパー自主点検調査事業の実施について	正会員
19	03. 7. 27	自主点検講習会講師の派遣について(お願い)	厚労省
20	03. 8. 23	リネンサプライ業技能講習会(上級)の開催について	正会員・賛助会員
21	03. 8. 24	ダイアパー自主点検調査事業の延期について	各支部長
22	03. 8. 24	ダイアパー自主点検調査事業の延期について	正会員
(事務連絡)	03. 8. 30	永年表彰の写真送付について	表彰者
23	03. 8. 30	夏季細菌検査の結果通知並びに再検査の実施について	再検査会員
24	03. 9. 01	夏季細菌検査・成績書の送付について	合格会員
25	03. 9. 10	ダイアパー自主点検調査事業の日程変更について(委嘱状交付)	各支部長
26	03. 9. 10	ダイアパー自主点検調査事業の日程変更について	正会員

日付振発・号	年 月 日	文 書 標 題 (件名)	宛 先
27	03. 9. 22	おむつ類の業務代行実施承諾書の送付について	正会員
28	03. 9. 22	会員名簿の変更箇所連絡のお願い	正会員・賛助会員
29	03. 9. 22	おむつ類の業務代行実施施設確定件数について	支部長
30	03. 9. 27	夏季細菌検査（再検査）成績書の送付について	再検査受検会員
31	03. 9. 30	夏季細菌検査成績書の送付について	支部長
(事務連絡)	03. 10. 18	「会員名簿」変更箇所連絡	会員・役員他
(事務連絡)	03. 10. 18	今後の総会・理事会日程について（ご連絡）	役員・支部事務局
32	03. 11. 25	広報誌「ほわいと」（第50号）の送付について	会員・厚労省他
33	03. 12. 1	広報誌「ほわいと」（第50号）広告料ご請求について	広告掲載賛助会員
34	03. 11. 26	リネンサプライ業技能講習会(初級)の開催について	正会員・賛助会員
35	04. 1. 17	冬季細菌検査の実施について	正会員
36	04. 1. 4	第2回拡大技術調査委員会の開催について（ご案内）	委員
(事務連絡)	04. 1. 14	リネンサプライ業技能講習会(初級)延期について	受講申込者
37	04. 1. 20	自主点検調査補助金交付について	支部長
<FAX>	04. 2. 7	不審メールに関する情報提供と注意喚起について	支部長
38	04. 2. 9	第2回通常理事会の開催について（ご案内）	役員
39	04. 2. 15	自主点検調査結果について(認定証交付)	正会員
40	04. 2. 15	自主点検調査結果について	支部長
41	04. 3. 4	冬季細菌検査・成績書の送付について	合格会員
(事務連絡)	04. 3. 8	機械部品供給遅れに関する協力のお願（業務用洗濯機部会より）	正会員
42	04. 3. 10	冬季細菌検査・成績書の送付について	支部長
43	04. 3. 14	監事監査の実施について（お願い）	監事
44	04. 3. 18	役員改選（候補者推薦のお願い）	常務理事
45	04. 3. 18	役員改選（次期役員就任のお願い）	監事
46	04. 3. 25	清拭タオルに関する細菌検査データ協力のお願	当該会員
47	04. 3. 25	役員改選（次期役員就任のお願い）	賛助・理事